

2019年09月10日

一般社団法人 日本自動車工業会

一般社団法人 日本自動車車体工業会

商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり。

- リサイクル設計の推進 : (1) 車体メーカー各社にて製品展開拡大中。
(2) 易解体性向上・解体マニュアル充実のため平ボデー、バン型車解体実験を実施。設計への反映、解体マニュアル記載内容見直しを推進。
(3) 環境基準適合ラベルの貼付目標 80%達成済み。(2018年度 90.3%)
- 重金属4物質の使用削減 : 鉛、六価クロム、水銀、カドミウムの4物質すべて目標達成を継続。
- リサイクル・適正処理の推進 : 協力事業者制度の維持、継続中。
- 情報提供、啓発活動の推進 : 関連事業者との情報交換継続。協力事業者制度参加事業者リストの配布継続、解体作業見学会実施、シャシー・架装物工場見学会実施。

自主取組みの内容	進捗状況																														
1. リサイクル設計の推進																															
(1) 易解体性向上および適正処理の推進 [目標: 易解体性バンの試作、製品展開]	①各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中。 ②易解体性バンは 2018年度車工会会員バン生産の90.5%(74,893台) ③易解体性向上のため、解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業見学会を実施、解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック。																														
	<p style="text-align: center;">車工会会員生産バンに占める易解体性バンの割合</p> <table border="1"> <caption>車工会会員生産バンに占める易解体性バンの割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2005</td><td>70%</td></tr> <tr><td>2006</td><td>71%</td></tr> <tr><td>2007</td><td>87%</td></tr> <tr><td>2008</td><td>87%</td></tr> <tr><td>2009</td><td>89%</td></tr> <tr><td>2010</td><td>91%</td></tr> <tr><td>2011</td><td>90.7%</td></tr> <tr><td>2012</td><td>91.0%</td></tr> <tr><td>2013</td><td>89.8%</td></tr> <tr><td>2014</td><td>90.4%</td></tr> <tr><td>2015</td><td>90.7%</td></tr> <tr><td>2016</td><td>91.1%</td></tr> <tr><td>2017</td><td>91.5%</td></tr> <tr><td>2018年度</td><td>90.5%</td></tr> </tbody> </table>	年度	割合	2005	70%	2006	71%	2007	87%	2008	87%	2009	89%	2010	91%	2011	90.7%	2012	91.0%	2013	89.8%	2014	90.4%	2015	90.7%	2016	91.1%	2017	91.5%	2018年度	90.5%
年度	割合																														
2005	70%																														
2006	71%																														
2007	87%																														
2008	87%																														
2009	89%																														
2010	91%																														
2011	90.7%																														
2012	91.0%																														
2013	89.8%																														
2014	90.4%																														
2015	90.7%																														
2016	91.1%																														
2017	91.5%																														
2018年度	90.5%																														
(2) 解体マニュアル作成 [目標: 主要3機種の大半をカバー]	①解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、タンクローリ)の解体マニュアルについて対応完了。(特装車製品など新規作成) ②車工会会員主要各社ホームページにて公開中。 累計公開件数:201件(前年比+9件)																														
	③解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映。																														
「帆ウイングボデー 解体マニュアルの例」	解体作業手順 記載例																														
	<ol style="list-style-type: none"> ①サイドガード、フェンダー、泥除け等の艀装品を取り外します。 ②車幅灯、車高灯・庫内灯・路肩灯等の電装品を取り外します。 ③Uボルト、連結ボルト・ブレース等の連結金具を取り外します。 ④クレーン等を使用してボデーをシャシーから取り外します 																														

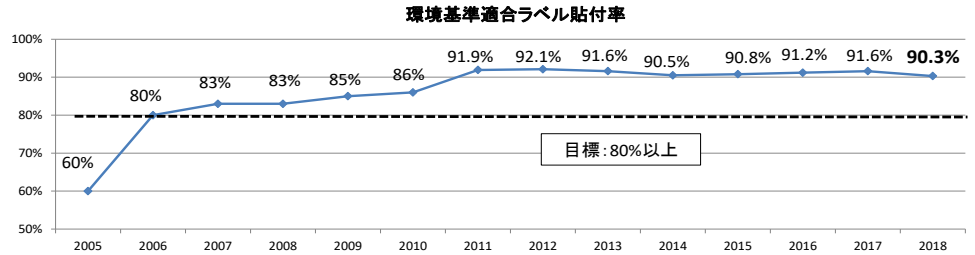
(3) 環境基準適合ラベルの設定

〔目標: 車工会会員生産車の80%に貼付〕

〈 環境基準適合ラベルの要件 〉

- ① 3R 判断基準ガイドラインの作成
- ② 解体マニュアルの作成・公開
- ③ 製造業者名の表示
- ④ 樹脂部品材料名の表示

・ 2004 年 3 月、環境基準適合ラベルの要件を設定し、2005 年度以降、**毎年目標 80% を達成中。**



※2016 年 1 月より、環境基準適合ラベルは、環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録、掲載中。

2. 重金属 4 物質の使用削減

- (1) 鉛
〔目標: 使用量 2002 年度 60g/台 →2006 年度 30g/台に半減〕
- (2) 水銀
〔目標: 2005 年 1 月以降使用禁止(照明装置等を除く)〕
- (3) 六価クロム
〔目標: 2008 年 1 月以降使用禁止〕
- (4) カドミウム
〔目標: 2007 年 1 月以降使用禁止〕

- 2005 年度より目標達成を継続。
〈鉛フリー化の事例〉ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替
- 2004 年末より目標達成を継続。
〈水銀フリー化の事例〉高所作業車の水平保持用のスイッチ
- 2007 年末より目標達成を継続。
〈六価クロムフリー化の事例〉金具類(例: 蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ)
- 2006 年末より目標達成を継続。
〈カドミウムフリー化の事例〉マーカーランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ

⇒毎年重金属 4 物質の目標達成が継続されているかフォローアップ活動を実施中。

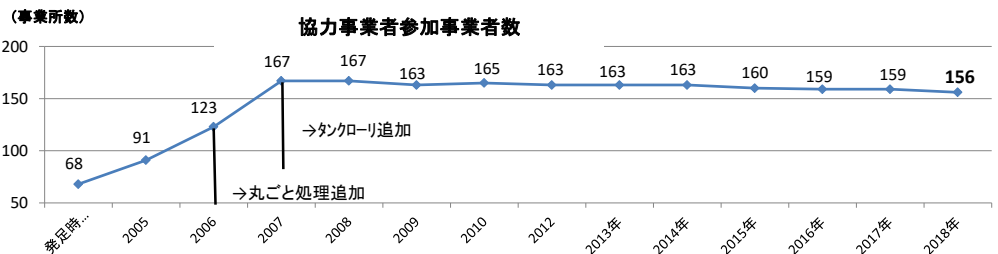
3. リサイクル・適正処理の推進

- (1) 協力事業者制度の構築と拡充
〔目標: 制度への登録拡充と各ブロックへの適正配置〕

車工会ホームページに掲載



- ① 協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続。
- ② 解体事業者の要望をふまえて丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の分析・処理・洗浄事業者も維持。
- ③ 協力事業者の状況を定期的に把握し、必要に応じ車工会ホームページを更新、情報提供を継続中。



4. 情報提供、啓発活動の推進

- (1) 協力事業者参加事業者リスト改訂版作成・配布。
(解体事業者等に配付。(4月: 10,000部))
- (2) 解体事業者への情報提供。
商用車架装物処理に関して解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換を継続。また、解体事業者団体に対してシャシー・架装物工場見学会を実施(11月)。
※2019年度についても実施予定